



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社
 コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 啓二 TEL 03-3548-0790
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,144	4.0	1,458	14.3	1,455	14.3	1,047	16.8
2019年3月期第2四半期	31,863	7.1	1,276	△14.8	1,273	△15.1	896	△12.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,048百万円 (17.0%) 2019年3月期第2四半期 896百万円 (△12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.48	—
2019年3月期第2四半期	31.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	37,672	19,676	52.2	685.41
2019年3月期	39,910	19,547	49.0	680.89

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,676百万円 2019年3月期 19,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△8.3	2,590	△20.6	2,590	△20.7	1,820	△31.1	63.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	30,503,310株	2019年3月期	30,503,310株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,795,073株	2019年3月期	1,795,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	28,708,237株	2019年3月期2Q	28,708,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、政府による経済政策の効果を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、海外経済の不確実性や消費税率の引き上げによる影響、相次ぐ自然災害の発生等から、先行きは不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が実施されており、効率的で質の高い医療提供体制の構築等が進められております。医療機関においては、制度改革の影響を背景に経営方針の見直しが行われており、コスト意識の高まりから納入業者に対する値下げ要請や大学系列病院・グループ系列病院等で商品の集約化や価格の統一化が進められております。また、2019年10月の消費税率引き上げに伴い、特定保険医療材料の償還価格改定が行われることから、当社グループの主力商品であるステントやP T C Aバルーンカテーテル、ペースメーカー等の販売価格の下落が見込まれます。

当社グループといたしましては、このような環境の変化を的確に把握し、顧客が持つ課題の解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、主要な取引先である大手グループ病院の仕入先見直しの影響があったものの、前年12月にグループ化した株式会社エムシーアイの業績が寄与した他、大型医療機器関連の販売が伸長したこと等により、売上高は33,144,710千円(前年同四半期比4.0%増)、経常利益は1,455,987千円(前年同四半期比14.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,047,177千円(前年同四半期比16.8%増)となりました。

分類別の経営成績は以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
虚血性心疾患関連	10,204,013	32.0	9,849,024	29.7%	△354,988	△3.5%
心臓律動管理関連	8,707,007	27.3	8,944,541	27.0%	237,533	2.7%
心臓血管外科関連	4,641,212	14.6	4,669,907	14.1%	28,695	0.6%
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	2,777,722	8.7	3,111,069	9.4%	333,347	12.0%
大型医療機器関連	1,530,256	4.8	1,996,270	6.0%	466,013	30.5%
その他	4,003,355	12.6	4,573,896	13.8%	570,541	14.3%
合計	31,863,568	100.0	33,144,710	100.0%	1,281,141	4.0%

・虚血性心疾患関連

集患支援の提案を積極的に実施し、既存顧客の深耕に努めましたが、薬剤溶出型ステント(DES)や血管内超音波(IVUS)診断カテーテルの販売数量が減少したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は9,849,024千円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

・心臓律動管理関連

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めたことで、不整脈の治療で使用するペースメーカーの販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は8,944,541千円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

・心臓血管外科関連

経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は4,669,907千円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

下肢の治療で使用する薬剤コーティング型バルーン(DCB)や薬剤溶出型ステント(DES)の販売数量が伸長した他、脳外科関連商品の販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は3,111,069千円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

・大型医療機器関連

医療施設の新築・増改築の情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行ったこと等により、大型医療機器関連の売上高は1,996,270千円(前年同四半期比30.5%増)となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、糖尿病関連商品の販売が伸長したこと等により、その他の売上高は4,573,896千円(前年同四半期比14.3%増)となりました。

主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲治療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等＞
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカ、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等＞
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、経カテーテル生体弁、人工血管、人工心肺等＞
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等＞
大型医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 ＜X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等＞
その他	上記以外の医療機器等であります。 ＜インスリンポンプ、持続血糖測定器、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等＞

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,238,753千円減少し、37,672,166千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が2,801,062千円、電子記録債権が413,750千円それぞれ減少した一方、現金及び預金が1,209,843千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2,368,569千円減少し、17,995,328千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,049,118千円、電子記録債務が233,869千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ129,815千円増加し、19,676,837千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,047,177千円増加した一方、前期の配当金の支払により918,663千円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、11,499,444千円となりました。

(現金及び預金の四半期末残高)

現金及び現金同等物	11,499,444千円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,000,000千円
現金及び預金の四半期末残高	16,499,444千円
(連結貸借対照表の現金及び預金)	

主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,538,786千円、売上債権の減少が3,214,812千円あった一方、仕入債務の減少が2,282,988千円、法人税等の支払が513,717千円あったこと等により2,144,531千円の収入(前年同四半期は1,327,509千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が65,864千円あったこと等により16,024千円の支出(前年同四半期は59,140千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金の支払が918,663千円あったことにより918,663千円の支出(前年同四半期は832,542千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年8月9日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通りの連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,289,600	16,499,444
受取手形及び売掛金	16,979,122	14,178,059
電子記録債権	1,382,859	969,109
商品	2,335,188	2,218,197
その他	782,332	736,200
貸倒引当金	△14,842	△13,545
流動資産合計	36,754,260	34,587,466
固定資産		
有形固定資産	2,271,069	2,213,101
無形固定資産	106,719	105,923
投資その他の資産	778,869	765,674
固定資産合計	3,156,659	3,084,700
資産合計	39,910,920	37,672,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,269,109	14,219,990
電子記録債務	1,899,724	1,665,855
未払法人税等	484,596	530,125
賞与引当金	312,726	291,708
その他	473,495	320,186
流動負債合計	19,439,653	17,027,867
固定負債		
退職給付に係る負債	919,453	965,461
その他	4,791	2,000
固定負債合計	924,245	967,461
負債合計	20,363,898	17,995,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,272,369
利益剰余金	17,285,288	17,413,802
自己株式	△538,066	△538,066
株主資本合計	19,569,590	19,698,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	97
退職給付に係る調整累計額	△22,660	△21,365
その他の包括利益累計額合計	△22,569	△21,267
純資産合計	19,547,021	19,676,837
負債純資産合計	39,910,920	37,672,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	31,863,568	33,144,710
売上原価	27,890,426	28,934,426
売上総利益	3,973,141	4,210,283
販売費及び一般管理費	2,696,855	2,751,669
営業利益	1,276,285	1,458,613
営業外収益		
受取利息	54	637
受取配当金	5	5
不動産賃貸料	1,005	1,005
その他	1,844	4,630
営業外収益合計	2,909	6,278
営業外費用		
たな卸資産処分損	—	6,673
その他	5,396	2,231
営業外費用合計	5,396	8,904
経常利益	1,273,799	1,455,987
特別利益		
固定資産売却益	666	681
匿名組合投資利益	—	82,117
特別利益合計	666	82,798
特別損失		
固定資産売却損	1,826	—
特別損失合計	1,826	—
税金等調整前四半期純利益	1,272,639	1,538,786
法人税等	376,337	491,608
四半期純利益	896,302	1,047,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,302	1,047,177

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	896,302	1,047,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	6
退職給付に係る調整額	16	1,295
その他の包括利益合計	45	1,301
四半期包括利益	896,347	1,048,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	896,347	1,048,479

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,272,639	1,538,786
減価償却費	115,693	94,532
売上債権の増減額(△は増加)	1,468,237	3,214,812
たな卸資産の増減額(△は増加)	△512,990	129,664
仕入債務の増減額(△は減少)	△151,971	△2,282,988
その他	△373,383	△37,211
小計	1,818,224	2,657,595
法人税等の支払額	△490,775	△513,717
その他	60	652
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,327,509	2,144,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53,644	△65,864
その他	△5,496	49,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,140	△16,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△832,539	△918,663
その他	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△832,542	△918,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	435,826	1,209,843
現金及び現金同等物の期首残高	13,317,107	10,289,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,752,934	11,499,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。